

# 町民が集い、学び、つながる、公民館講座を目指して

遠賀町 遠賀町教育委員会【公立公民館】

生涯学習課スポーツ文化係 係長 河原 清子  
社会教育指導員 添田 千恵子

## 1. 事業名

「遠賀町民学習ネットワーク事業」

## 2. 事業の目的

事業の目的は、「町民が生活又は文化の向上にかかわる分野において、増大する町民の学習要求にこたえるため指導者の発掘、養成とその活用を図ることによって町民の相互学習の機会も高めるとともに町民が地域内での連帯意識及び相互援助の精神を培い、もって地域の活力ある学習コミュニティの形成に資する。」としています。

## 3. 実施に至る経緯

遠賀町では、平成5年に「人と人を結ぶ『遠賀町民学習ネットワーク事業』」がスタートしました。

## 4. 事業の内容

「遠賀町民学習ネットワーク事業」とは、身近な公民館などで5人以上の人数が集まれば、自主的・自発的そして相互に学習ができるように、ふさわしい指導者を紹介したり、学習に必要ないろいろな情報を提供したりする事業です。この学級を「いきいきふれあい学級」といい、1回の学習時間は2時間を目安としています。詳細は、事務局職員と指導者とで調整し、遠賀町中央公民館での開催が中心となっています。遠賀町民学習ネットワーク運営委員会では、有志指導者の登録や事業の実施計画、事業の進捗状況、事業終了後の報告など行い事業内容等を審議しています。

また、指導者となる人を「有志指導者」と名付け、地域のためのボランティアということで、自分の特技・知識・技術などを教えていただきます。現在、指導項目が30あり、個人33名、団体7つの登録があります。年に1回広報で有志指導者を募集しますが、昨年度は「編み物」、本年度は「折り紙」「刃物とぎ」「手話」「ギター」「コーヒー講座」と「古布を使った小物やタペストリー作り」をされる方や団体が登録されました。

また、有志指導者の資格は、満18歳以上・遠賀町に居住、在勤もしくは在学する者、学習指導の意志と能力を有する者となっています。

『男の和食』では、14名の内9名の男性リピーターに参加していただきました。「遠賀町食生活改善推進会」略して「食進会」という女性の団体に指導していただき、殆どマンツーマンで食材の切り方など教えられ、満足度が高くにぎやかな教室となりました。



『癒しの書』では、実用的な「のし書き」の練習をしましたが、精神統一できて落ち着いた時間が持てたという感想が多く寄せられました。『法律を学ぼう』の成人講座では町内の弁護士にお越しいただき、身近な法律について皆で考える時間を持つことができました。刃物店の職人による『暮らしの刃物・研ぎ方教室』は、1回目が「包丁」2回目が「カマとクワ」でした。皆さん、学んだ研ぎ方で真剣に取り組んでおられました。

今年度は、新しく有志指導者に登録された方を積極的に活用し、「刃物とぎ」「折り紙」教室を実施しました。初めて講師として活動する方を援助し、平日仕事をしている方が参加しやすいよう、日曜や祝日の教室も開催しました。

小学生と中学生を対象にした「夏休みわくわく体験教室」「冬休みわくわく体験教室」では、他校や異学年の友達と仲良く、物作りの楽しさを知り、中央公民館に親しみを持ってもらうために開催しています。町内に小学校が3つ、中学校が2つありますが、有志指導者の学校派遣の要望も少ないので、この教室を計画しています。

「夏休みわくわく体験教室」では、『竹細工』を行いました。7月28日に1回のみ、参加者も5名とこじんまりしていましたが、竹を使って作った笛やクワガタ虫を夏休みの作品として学校に提出した児童もいたようです。

『そろばん』では、一昔前はそろばん教室も地区の公民館で行われておりましたが、最近はどうなのか果たして参加者があるだろうかと思いながら募集しました。予想以上の2回で48名の参加者があり、募集の結果に事務局が一番びっくりしました。参加した児童は、扱い慣れないそろばんに向かって一生懸命に指導者の言うことを聞いてはじめていました。

「ふれあいスクール学校派遣」では、毎年年度初めに事務局が各学校からの要望を把握、その後に連絡調整し日程を決めボランティアを派遣します。ここでは、「ふれあいスクール」に派遣される方を「ボランティア」と言います。

『ふれあいスクール毛筆書道ボランティア学校派遣』では、小学校3校、3・4年生に1・2・3学期とも派遣を行っています。リーダーの方を中心に毎月1回、ボランティアの方々が研修会を行っています。ボランティア全員に3・4年生の教科書を渡し、翌月派遣の学年の文字の練習や指導のポイントの確認や教室の黒板に書く示範の練習を行います。

「書道」と学校教科の国語の「書写」の違いを再確認し、担任の指導などの適正な援助ができるようにしています。1クラスに12名前後の派遣をしており、ボランティアの皆さんは、学校に行くのが何よりも楽しいと言われます。

事務局では、町民自身で学習の機会を持っていただくため、また、自主学習グループを増やすために、まずは町民が学習意欲を持ちそうな講座を計画します。有志指導者が指導者となる「いきいきふれあい学級」と町外の指導者にお願いする「成人講座」がありますが、講座により参加者数のばらつきはあります。これまでは全体的に男性の参加が少ないので、最近では男性が参加しやすい講座も計画しています。



## 5. 事業予算

事業費では講師謝金の支出が668千円程です。「遠賀町民学習ネットワーク事業」各教室の講師分です。その他、材料代が必要となる教室は、材料費を徴収しますので、その中で賄っています。有志指導者の費用弁償は、1回（2時間以内）あたり2,000円（ただし、学校派遣は1回1,000円）、成人講座の費用弁償は1回（2時間以内）あたり8,000円を基本としてお願いしています。

## 6. プログラム作成の視点

これらの「いきいきふれあい学級」を継続していくため、毎年講座開級の意志を確認し、隔年で有志指導者の懇談会を開き意義などを再確認していくこと、講座自体を受講生が楽しみ、作品出展や出演を通して自信をつけていくこと、ボランティア自体も楽しめるように、打ち合わせをしっかりと行い伝達し役割を明確にしておくこと、参加者が自分で目標を立てて達成感を確認することも大事であると考えています。

また、毎年ワクワクするような講座となるよう、魅力ある教養講座を企画することもプログラムの大事な視点と考えています。

## 7. 成果

成果としては、アンケートを随時行っており、講座の内容は「非常によい」と「良い」が殆どです。テーマ及び講師の選定など満足している様子であり、また、受講生の皆さんが熱心で楽しまれていることも同時に伝わってきます。

学校支援ボランティアの方はもちろん児童生徒の皆さんからも最後にアンケートに答えてもらっています。通常の授業は先生一人なので、実技では到底一人一人に手取り足取りの授業は不可能です。一人一人の声掛けや手を差しのべることをボランティアスタッフが代行し、それに対して子どもたちが「教えてもらって嬉しい」などをアンケートに書いています。ボランティアの方も自分のボランティア活動が役に立っているという実感を持つことができています。

公民館で有志指導者として、また、学校でボランティアをする機会を得て、ボランティアが好きな人や地域の活動に参加し始めた人は少なくありません。やはり、公民館の役割は「きっかけ作り」だなと再確認しているところです。

## 8. 今後の課題

現在のところ、有志指導者は中央公民館での教室、ボランティアには学校派遣に参加していただいておりますが、要請される内容や人員に限りがあるので、他の要請に応えられるように、幅広い年代層の有志指導者やボランティアを募集し、活動できる範囲をひろげていきたいと思っています。

有志指導者・ボランティアの方々は、どのような指導が楽しくなるか、どのようなアドバイスが分かりやすいか伝わるか等も考えていただいておりますが、更に、誰もが楽しく講座に参加してもらえよう、懇親会などを通して指導者同士の協力体制の強化を図り、「町民が集い、学び、つながる、公民館講座」を目指したいと思っております。

問い合わせ先 〒811-4392 福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀513番地  
遠賀町中央公民館（生涯学習課スポーツ文化係）  
電話093-293-1355 FAX093-293-5553  
メールアドレス [syougai.gakusyuu@town.onga.lg.jp](mailto:syougai.gakusyuu@town.onga.lg.jp)